
令和5年度 市民による市政評価 調査結果について(概要版)

企画部総合政策課

1 市政評価について

大仙市では、市民の皆さんの評価や意見を伺い、今後の市政運営や協働のまちづくりを進めるため、「市民による市政評価」を平成18年度から継続的に実施しています。

平成28年度からは、市政評価とあわせて個別の事務事業に関する評価や意見等を伺う「個別事業評価」を実施しており、より市民目線に立った効率的で効果的な事業実施に努めてきたところです。

2 調査の種別

(1) 市政評価

第2次大仙市総合計画基本構想に示している体系（「施策の柱」「施策の大綱」）に基づき設定した設問項目（施策）について、「満足度」「重要度」「今後さらに推進すべき取り組み」を調査しました。また、「市の情報発信や行政サービスのデジタル化について」として、市政情報の入手手段や行政サービスのデジタル化に期待することを伺ったほか、「あなたが思う大仙市について」として、大仙市の住みやすさなどに関する意識調査も行いました。

(2) 個別事業評価

個別具体の施策や事業の認知度、利用度、意識等を把握し、より市民目線にたった施策の推進や事業の見直しを進めるため、次の2テーマについて調査しました。

テーマ
1) SDGsについて
2) 出会い・結婚について

3 実施方法

(1) 手法

調査票を郵送したうえで、郵送かインターネットを選択していただく方式としました。

(2) 期間

令和5年5月12日（金）～6月16日（金）

4 調査対象

市内在住で16歳以上85歳未満の方の中から無作為に抽出した市民1,000人。

（性別、年齢、地域については考慮）

※昨年度から対象年齢を引き下げ（18歳以上→16歳以上）

5 回収数・回収率

送付数	回収数			回収率
1,000人	548人			54.8%
内 訳	回答方法	回収数	割合	
	郵送	418人	76.3%	
	ネット	130人	23.7%	

6 市政評価 調査結果の概要

(1) 満足度及び重要度について

〈満足の度合い〉

- ⇒ 満足度の上位項目は、上から「保健・医療」「安全・安心体制」「子育て」の順となっており、下位項目は下から「商工業」「雇用・就労」「市街地」の順となっている。
- ⇒ 昨年度と比較すると、全体的な順位に大きな変動は無いものの、下降した項目が多くなっており、中でも3.28で11位の「花火産業構想」と2.81で27位の「市街地」は昨年度から0.15ポイント減少している。

その他の項目で0.10ポイント以上変化した項目は、3.48で3位の「子育て」（昨年度から0.12ポイント減）、3.29で10位の「社会保障」（昨年度から0.12ポイント減）3.31で9位の「社会福祉」（昨年度から0.11ポイント減）となっている。なお、0.10ポイント以上上昇した項目は無く、最も上昇したのは3.51で2位の「安全・安心体制」（昨年度から0.05ポイント増）となっている。

順位	R5	R4	項目	満足度 ※			R5	R4	増減 (R5-R4)		
				←	↖	↗					
1	1	1	【保健・医療】	←	↖	↗	3.70	3.71	▲0.01	Ⅱ	3
2	6	6	【安全・安心体制】	↖	↖	↗	3.51	3.46	0.05	Ⅲ	2
3	2	2	【子育て】	↗	↖	↗	3.48	3.60	▲0.12	Ⅱ	2
4	5	5	【スポーツ】	←	↖	↗	3.47	3.47	0.00	Ⅱ	6
4	3	3	【自然・衛生環境】	↗	↖	↗	3.47	3.52	▲0.05	Ⅲ	1
6	4	4	【上・下水道】	←	↖	↗	3.46	3.49	▲0.03	Ⅲ	8
7	7	7	【地域情報化】	←	↖	↗	3.42	3.45	▲0.03	Ⅲ	5
8	11	11	【学校教育】	←	↖	↗	3.32	3.34	▲0.02	Ⅳ	1
9	9	9	【社会福祉】	↗	↖	↗	3.31	3.42	▲0.11	Ⅱ	4
10	10	10	【社会保障】	↗	↖	↗	3.29	3.41	▲0.12	Ⅱ	5
11	8	8	【花火産業構想】	↓	↖	↗	3.28	3.43	▲0.15	Ⅰ	3
11	13	13	【道路・河川】	←	↖	↗	3.28	3.27	0.01	Ⅲ	7
13	12	12	【生涯学習】	←	↖	↗	3.25	3.29	▲0.04	Ⅳ	2
14	14	14	【地域間・国際交流】	←	↖	↗	3.24	3.26	▲0.02	Ⅳ	4
15	15	15	【芸術・文化】	←	↖	↗	3.23	3.24	▲0.01	Ⅳ	3
16	18	18	【農林水産業】	←	↖	↗	3.19	3.19	0.00	Ⅰ	1
16	19	19	【市民協働】	←	↖	↗	3.19	3.18	0.01	Ⅴ	3
18	15	15	【住環境】	↗	↖	↗	3.17	3.24	▲0.07	Ⅲ	9
19	17	17	【公共交通】	↗	↖	↗	3.16	3.23	▲0.07	Ⅲ	4
20	20	20	【男女共同参画】	←	↖	↗	3.15	3.17	▲0.02	Ⅴ	4
21	20	20	【地域活性化】	←	↖	↗	3.14	3.17	▲0.03	Ⅴ	1
22	20	20	【観光】	↗	↖	↗	3.09	3.17	▲0.08	Ⅰ	4
22	24	24	【行財政運営】	←	↖	↗	3.09	3.08	0.01	Ⅴ	5
24	23	23	【移住・定住】	↗	↖	↗	3.07	3.12	▲0.05	Ⅴ	2
25	26	26	【出会い・結婚】	←	↖	↗	2.88	2.92	▲0.04	Ⅱ	1
26	27	27	【空き家対策】	←	↖	↗	2.87	2.87	0.00	Ⅲ	3
27	25	25	【市街地】	↓	↖	↗	2.81	2.96	▲0.15	Ⅲ	6
28	29	29	【雇用・就労】	↗	↖	↗	2.78	2.84	▲0.06	Ⅰ	5
29	28	28	【商工業】	↗	↖	↗	2.77	2.85	▲0.08	Ⅰ	2

※矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↖ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↗ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

〈重要の度合い〉

- ⇒ 重要度の上位項目は「保健・医療」「子育て」「雇用・就労」の順となっており、下位項目は「芸術・文化」「スポーツ」「地域間・国際交流」の順となっている。
- ⇒ 昨年度と比較すると、全体的な順位に大きな変動は無いものの、上昇した項目が多くなっており、0.10ポイント以上上昇した項目は、4.08で13位の「公共交通」（昨年度から0.12ポイント増）、4.49で1位の「保健・医療」（昨年度から0.10ポイント増）となっている。一方、0.10ポイント以上低下した項目は3.81で20位の「行財政運営」（昨年度から0.14ポイント減）のみとなっている。

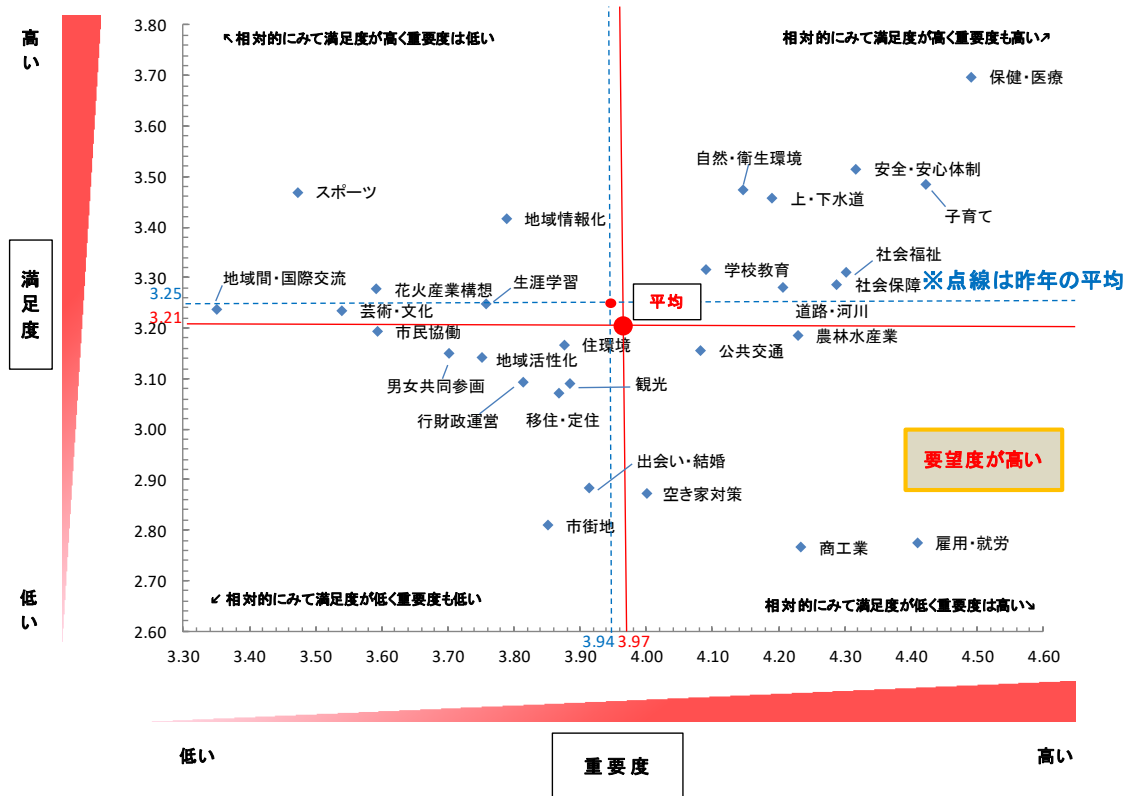
順位		項目	重要度 ※			増減 (R5-R4)	R5	R4	R5	R4
R5	R4		R5	R4	R5					
1	1	【保健・医療】	↗	4.49	4.39	0.10	Ⅱ	3		
2	2	【子育て】	↗	4.42	4.36	0.06	Ⅱ	2		
3	3	【雇用・就労】	↗	4.41	4.34	0.07	Ⅰ	5		
4	5	【安全・安心体制】	←	4.31	4.30	0.01	Ⅲ	2		
5	4	【社会福祉】	←	4.30	4.31	▲0.01	Ⅱ	4		
6	6	【社会保障】	↗	4.29	4.23	0.06	Ⅱ	5		
7	7	【農林水産業】	←	4.23	4.19	0.04	Ⅰ	1		
7	8	【商工業】	↗	4.23	4.18	0.05	Ⅰ	2		
9	8	【道路・河川】	←	4.21	4.18	0.03	Ⅲ	7		
10	10	【上・下水道】	↗	4.19	4.12	0.07	Ⅲ	8		
11	12	【自然・衛生環境】	↗	4.15	4.06	0.09	Ⅲ	1		
12	11	【学校教育】	←	4.09	4.09	0.00	Ⅳ	1		
13	13	【公共交通】	↗	4.08	3.96	0.12	Ⅲ	4		
14	14	【空き家対策】	↗	4.00	3.95	0.05	Ⅲ	3		
15	16	【出会い・結婚】	↗	3.91	3.86	0.05	Ⅱ	1		
16	17	【観光】	←	3.88	3.85	0.03	Ⅰ	4		
16	17	【住環境】	←	3.88	3.85	0.03	Ⅲ	9		
18	19	【移住・定住】	↗	3.87	3.82	0.05	Ⅴ	2		
19	20	【市街地】	↗	3.85	3.78	0.07	Ⅲ	6		
20	14	【行財政運営】	↘	3.81	3.95	▲0.14	Ⅴ	5		
21	22	【地域情報化】	←	3.79	3.75	0.04	Ⅲ	5		
22	21	【生涯学習】	←	3.76	3.77	▲0.01	Ⅳ	2		
23	23	【地域活性化】	←	3.75	3.73	0.02	Ⅴ	1		
24	24	【男女共同参画】	←	3.70	3.69	0.01	Ⅴ	4		
25	26	【花火産業構想】	←	3.59	3.58	0.01	Ⅰ	3		
25	25	【市民協働】	←	3.59	3.60	▲0.01	Ⅴ	3		
27	27	【芸術・文化】	←	3.54	3.57	▲0.03	Ⅳ	3		
28	28	【スポーツ】	←	3.47	3.43	0.04	Ⅱ	6		
29	29	【地域間・国際交流】	←	3.35	3.38	▲0.03	Ⅳ	4		

※矢印の説明

- ↑ 前年比+0.15以上
- ↗ 前年比+0.05以上+0.15未満
- ← 前年比-0.05より大きく+0.05未満
- ↘ 前年比-0.05以下-0.15未満
- ↓ 前年比-0.15以下

〈要望の度合い〉

⇒ 相対的に見て要望度が高い（「重要度」は高いが「満足度」は低い）項目は、昨年度同様、「雇用・就労」「商工業」となっている。特に「雇用・就労」は毎年度最も要望度が高い項目となっている。



(2) 今後、さらに推進すべき取組について

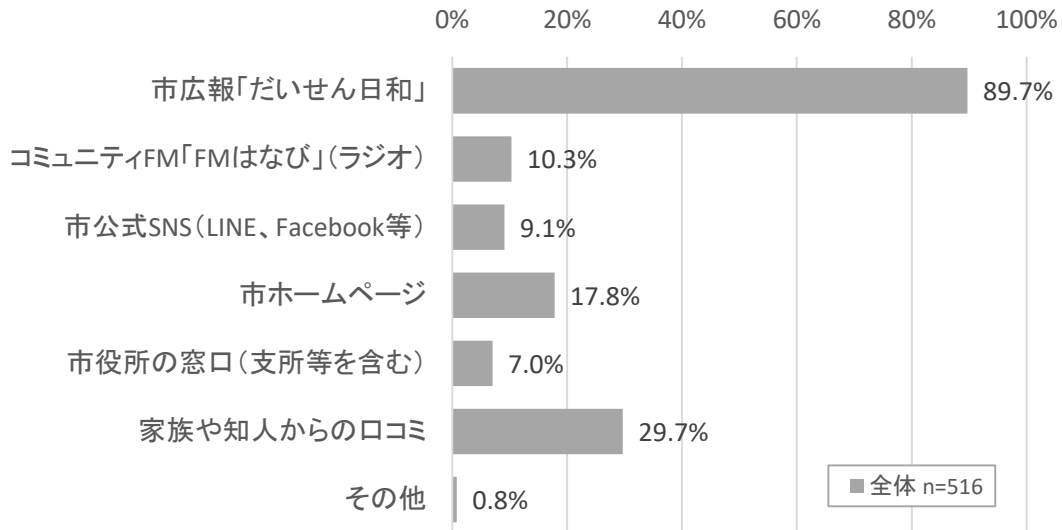
今後さらに推進すべき取組として、各分野で回答数が多い上位3項目は次のとおり。

分野	順位	取組み内容	回答数
産業分野	1	雇用の安定と就労環境の充実	339
	2	農業の担い手確保、育成	338
	3	企業誘致の強化	257
出会い・結婚・子育て分野	1	子育てに関わる経済的負担の軽減	305
	2	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	277
	3	結婚を応援する環境づくり	219
健康福祉・スポーツ分野	1	地域医療体制の充実・強化	253
	2	介護サービス基盤等の強化	241
	3	こころの健康づくりの推進	234
環境・安全分野	1	除排雪体制の充実	358
	2	空き家の適正管理と利活用	241
	3	消融雪施設の充実	230
都市基盤分野	1	生活道路の整備	257
	2	地域や生活の実情に即した公共交通の整備	205
	2	人口減少社会に対応した機能集約型まちづくり	205
教育・交流分野	1	生きる力を育む学校教育	278
	2	児童・生徒数にあわせた学校施設の整備	222
	3	学校と地域の交流・連携	181
地域活性化・市民との協働・行政運営分野	1	若者が活躍できる環境づくり	299
	2	小規模集落・高齢化集落への支援	214
	3	移住・定住への支援	187
全分野	1	除排雪体制の充実	358
	2	雇用の安定と就労環境の充実	339
	3	農業の担い手確保、育成	338
	4	子育てに関わる経済的負担の軽減	305
	5	若者が活躍できる環境づくり	299
	6	生きる力を育む学校教育	278
	7	妊娠、出産、育児を応援する環境づくり	277
	8	企業誘致の強化	257
	8	生活道路の整備	257
	10	地域医療体制の充実・強化	253

(3) 市の情報発信や行政サービスのデジタル化について

○市政に関する情報を入手するために主に利用している手段は何ですか。(2つまで)

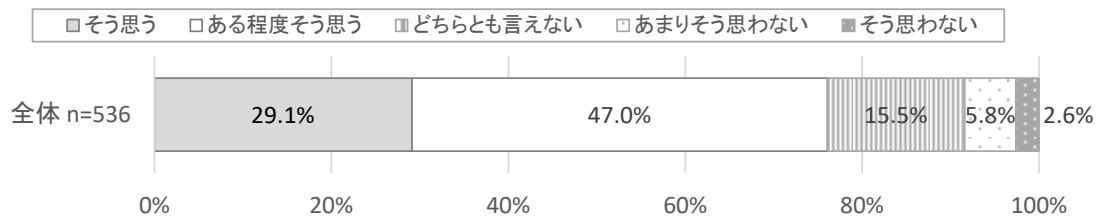
⇒ 市広報「だいせん日和」が89.7%で最も高く、次いで「家族や知人からの口コミ」が29.7%、「市ホームページ」が17.8%となっている。



○市政に関する情報入手の手段は利用しやすいですか。

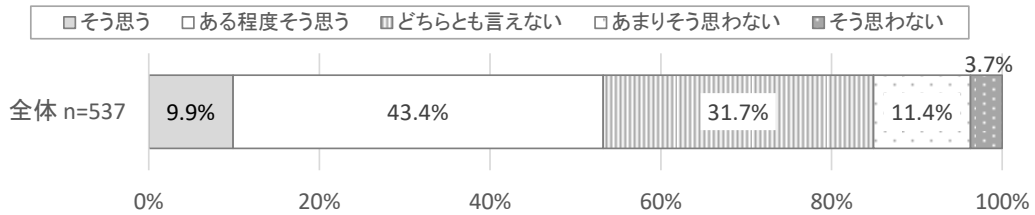
⇒ 「そう思う (入手しやすい)」が29.1%、「ある程度そう思う (ある程度入手しやすい)」が47.0%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は、76.1%と8割近くになっている。

⇒ 一方で「あまりそう思わない (あまり入手しやしくない)」が5.8%、「そう思わない (入手しづらい)」が2.6%となっており、否定的な意見は少なくなっている。



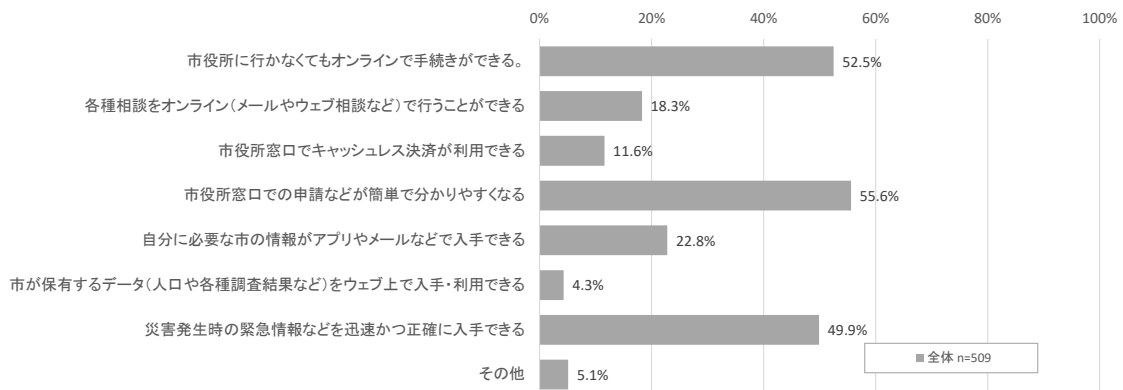
○市のサービスは利用しやすいですか。

- ⇒ 「そう思う（利用しやすい）」が9.9%、「ある程度そう思う（ある程度利用しやすい）」が43.4%となっており、「そう思う」「ある程度そう思う」を合わせた割合は、53.3%と約5割になっている。
- ⇒ 一方で「あまりそう思わない（あまり利用しやすくない）」が11.4%、「そう思わない（利用しやすくない）」が3.7%となっており、否定的な意見は少なくなっている。



○行政サービスのデジタル化に期待することは何ですか。

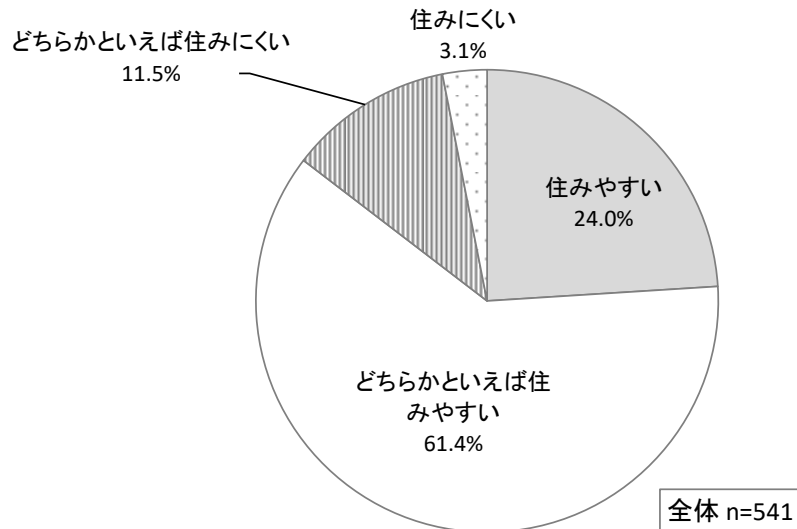
- ⇒ 「市役所窓口での申請などが簡単でわかりやすくなる」が55.6%で最も高く、次いで「市役所に行かなくてもオンラインで手続きができる」が52.5%、「災害発生時の緊急情報などを迅速かつ正確に入手できる」が49.9%となっている。



(4) あなたが思う大仙市について

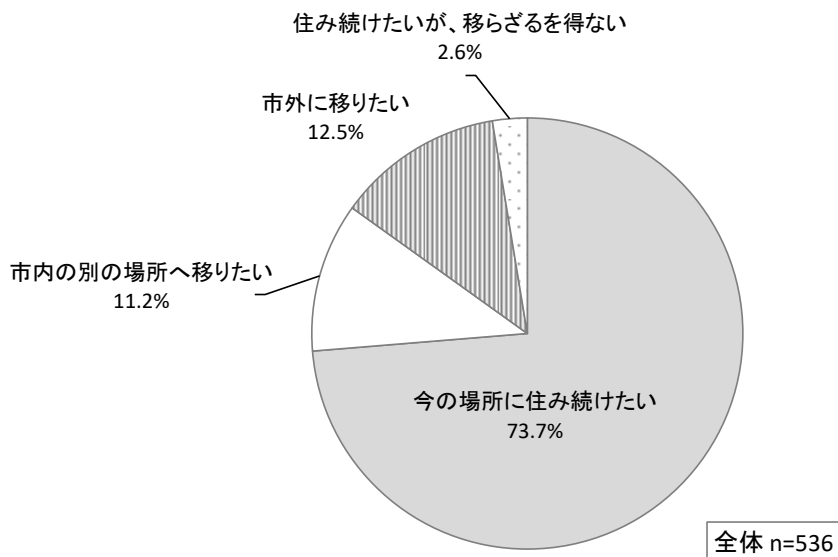
○大仙市は住みやすいか

⇒ 「住みやすい」が24.0%、「どちらかといえば住みやすい」が61.4%となっており、「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた割合は、85.4%となっている。



○大仙市に住み続けたいか

⇒ 「今の場所に住み続けたい」が73.7%、「市内の別の場所へ移りたい」が11.2%となっており、「今の場所に住み続けたい」「市内の別の場所へ移りたい」を合わせた割合は84.9%となっている。



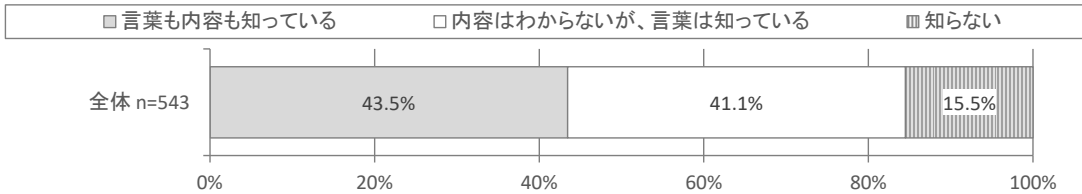
7 個別事業評価 調査結果の概要

(1) SDGsについて

調査目的：市民の皆さまのSDGsの認知度や取組状況などを伺い、今後、さらにSDGsを推進していくための参考とする。

○SDGsという言葉を知っていますか。

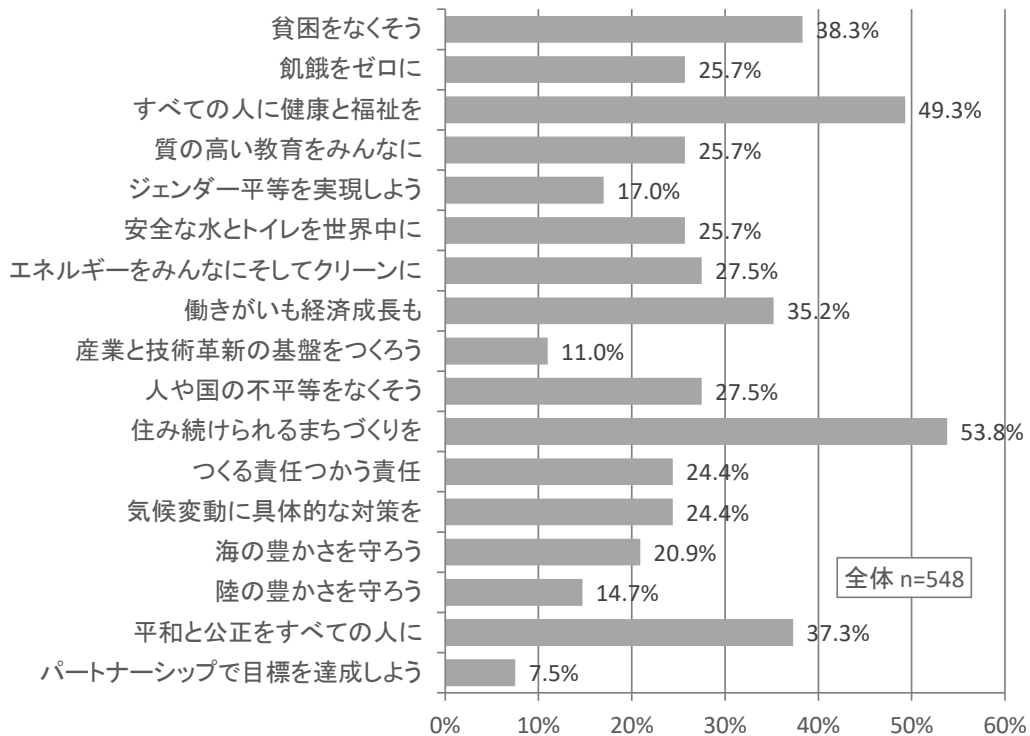
⇒ 「内容を含めて知っている」「内容は分からないが、言葉は知っている」を合わせた割合は84.6%となっており、8割以上の方がSDGsを認知している。



○SDGs 17 の目標のうち、「取り組んでいる」、または「取り組みたい」と考えている目標は何ですか。（それぞれ5つまで）

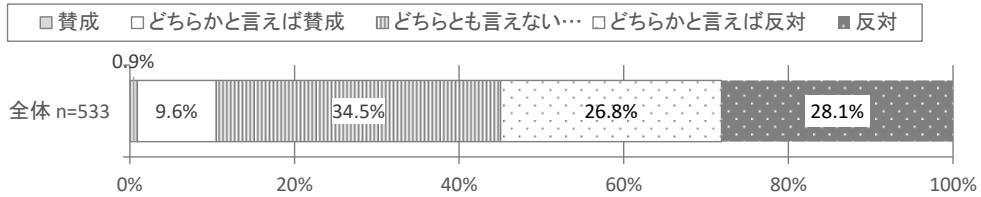
⇒ 「住み続けられるまちづくりを」が最も高く53.8%、次いで「すべての人に健康と福祉を」が49.3%となっており、この2項目が約5割となっている。

⇒ 上記2つの目標のほか、「貧困をなくそう」が38.3%、「働きがいも経済成長も」が35.2%、「平和と公正をすべての人に」が37.3%となっており、3割を超えている。



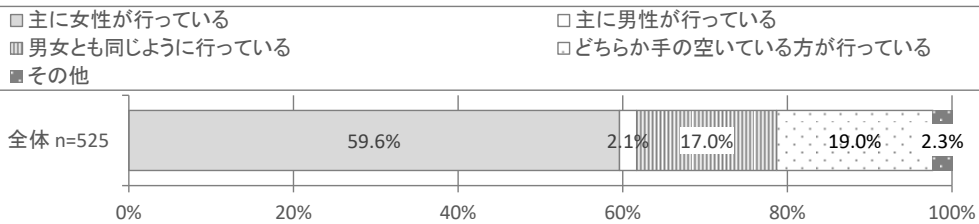
○「男性は仕事、女性は家庭」という考え方についてどう思いますか。

- ⇒ 「どちらとも言えない」が34.5%で最も高く、次いで「反対」が28.1%、「どちらかと言えば反対」が26.8%となっている。
- ⇒ 「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合は54.9%、「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合が10.5%となっており、「反対」「どちらかと言えば反対」を合わせた割合が「賛成」「どちらかと言えば賛成」を合わせた割合を大きく上回っている。



○あなたの家庭では、家事や育児、介護等をどのように分担していますが。

- ⇒ 「主に女性が行っている」が59.6%で最も高く、次いで「どちらか手の空いている方が行っている」が19.0%、「男女とも同じように行っている」が17.0%となっている。
- ⇒ 「男女とも同じように行っている」「どちらか手の空いている方が行っている」を合わせた性別に関わらず家事等を分担している割合は36.0%となっている。

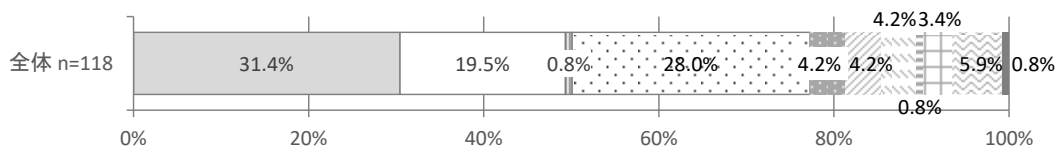
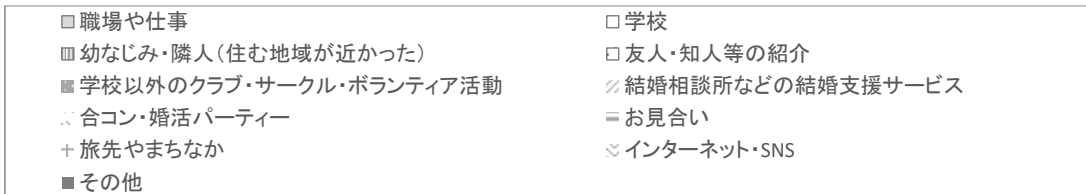


(2) 出会い・結婚について

調査目的：出会い・結婚に関するご意見等を伺い、今後、出会い・結婚を希望される皆さんへの支援をさらに充実させるための参考とする。

○直近の結婚(交際)相手の方との出会いのきっかけは何ですか。

⇒ 「職場や仕事」が31.4%で最も高く、次いで「友人知人等の紹介」が28.0%、「学校」が19.5%となっている。

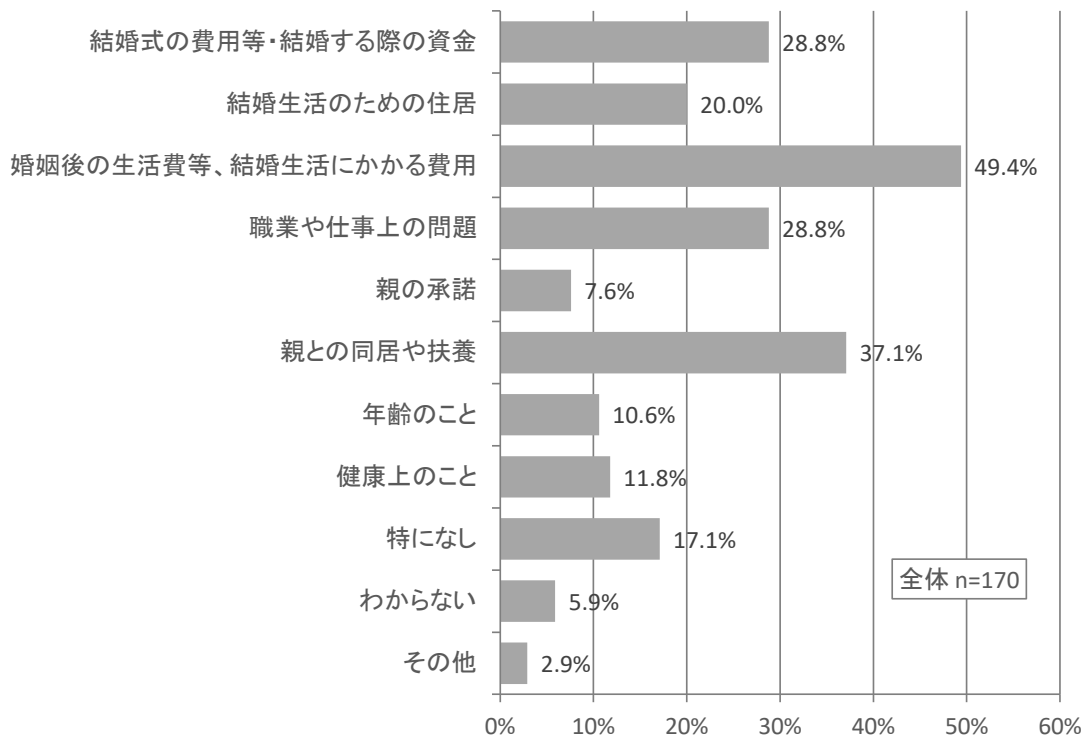


○結婚にあたって障害となるもの、または、障害となると考えられるものは何ですか。

(○はいくつでも)

⇒ 「婚姻後の生活費等」が49.4%で最も高く、次いで「親との同居や扶養」が37.1%、「結婚式の費用」「職業や仕事上の問題」が28.8%となっている。

⇒ 「特になし」が17.1%となっており、障害は無いと考えている方も一定数いることが伺える。



○出会い・結婚に関する支援で必要だと思うものは何ですか。

(○はいくつでも)

- ⇒ 「夫婦がともに働き続けられるような職場環境の充実」が59.0%で最も高く、次いで「非正規社員から正規社員への雇用形態の転換」が44.6%となっている。
- ⇒ 上位2項目のほか、「男女の出会いの場の提供」「結婚した方が有利となるような税制や社会保障制度の整備」「結婚や住宅に対する資金貸与や補助支援」「長時間労働の是正など自由な時間の確保」の4つの項目が約4割となっており、多面的な支援が求められていると考えられる。

